

授業科目名	ビジネス実践演習 1	担当教員名	高橋暁美 (実務経験のある教員)
		E-mail	
授業形態	講義+演習 (PBL)	オフィスアワー	
コース		授業体制	
単位		配当年次	2年次 前期
アクティヴ・ラーニング	分類 2-3. プレゼンテーションやリバー ス・プレゼンテーション 分類 2-5. アンケートやインタビュー 分類 4-3. 自由討論 分類 5-1. 学生が協力して行うプロジェ クト 分類 5-3. 地域コミュニティに根ざし たプロジェクト	必修・選択	
授業概要	本授業は、「マーケティング」「経営戦略入門」「現代ビジネス論」、「ビジネス実務総論 1」で修得した理論および分析力を基盤として、地域社会の実際の課題に対して解決策を提案・実行する PBL（課題解決型学習）である。 履修者は自治体や地域事業者、地域住民と連携し、地域の現場に入りながら、観光、商店街活性化、「道の駅」活性化、地域ブランド、人口減少対策などの課題を対象に調査・分析を行う。その上で、マーケティングおよび経営戦略の視点から解決策を立案し、最終的に提案・発表を行う。 本授業では、単なる分析にとどまらず、「現場理解 → 課題発見 → 解決策提案」までを一貫して行う実践型学習を通じて、社会人として必要な実践力を養う。		
到達目標	本授業の到達目標は以下の通りである。 ① 地域課題を具体的に把握・説明できる ② 現地調査・ヒアリングが実施できる ③ マーケティング・戦略理論を現場に適用できる ④ データ・現場情報に基づいた課題分析ができる ⑤ 実現可能性のある解決策を提案できる ⑥ 地域関係者に対して説得力あるプレゼンができる ⑦ チームでプロジェクトを遂行できる		
受講条件	「ビジネス実務総論1」「経営戦略入門」「マーケティング」「現代ビジネス論」を履修済みのこと		
授業計画	No	内容	授業外学習 (予習90分)
	1	ガイダンス/テーマ設定 内容：地域課題の提示・グループ編成	関心ある地域課題を調べる
	2	地域課題とは何か 内容：地域課題の種類（観光・商店街・道の駅など）	地域事例調査
	3	調査設計 内容：ヒアリング・フィールドワーク設計	質問項目作成
	4	現地調査① 内容：地域訪問・観察	気づき整理
	5	現地調査② 内容：ヒアリング（住民・事業者）	記録整理
	6	現地調査③ 内容：追加調査	課題整理
	7	課題整理 内容：問題構造化	課題図作成
	8	業界・地域分析 内容：競争・環境分析	3C分析
	9	マーケティング分析	STP分析

	内容：ターゲット・価値	
10	アイデア創出 内容：解決策検討	アイデア整理
11	施策設計 内容：具体案作成	施策具体化
12	中間発表 内容：フィードバック	改善
13	提案ブラッシュアップ 内容：実現可能性検討	資料作成
14	最終発表 内容：地域関係者への発表	発表練習
15	総括・振り返り 内容：学びの整理・キャリア接続	レポート作成
評価	授業参加・貢献度 30% 中間発表 20% 最終発表（実務提案） 30% 期末レポート 20%	
テキスト	テキストは適宜、配布します	
参考文献	大出敦・直江健介, 2020, 『アカデミック・スキルズ プレゼンテーション入門:学生のためのプレゼン上達術』慶應義塾大学出版会. [ISBN: 9784766425734] 市古みどり・上岡真紀子・保坂睦, 2014, 『資料検索入門—レポート・論文を書くために』慶應義塾大学出版会. [ISBN: 9784766420517] 西山敏樹・鈴木亮子・大西幸周, 2013, 『データ収集・分析入門—社会を効果的に読み解く技法』慶應義塾大学出版会. [ISBN: 9784766420500]	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・本講義は、受講生相互のグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等を取り入れます。授業への積極的な参加を期待します。 ・〇回以上欠席した場合は、特別な理由がない限り不可とします。 ・レポート課題が未提出の場合は不可とします。 ・欠席の場合は、授業日午前〇時までには欠席届をあらかじめ提出すること。無断欠席は減点の対象とします。 	